

三原市立宮浦中学校第1学年 総合的な学習の時間 学習指導案
単元名：「様々な角度から三原を見つめ、三原の課題の解決策を提案しよう」

指導者：三原市立宮浦中学校 藤井 千絵

- 1 日 時 : 平成30年10月3日(水) 第2校時
 2 場 所 : 1年1組教室
 3 学年・学級 : 第1学年1組(男子13名 女子20名 計33名)
 4 単元名 : 様々な角度から三原を見つめ、三原の課題の解決策を提案しよう

(1) 単元観

第1学年の総合的な学習の時間では、宮浦や三原市の現状を知り、将来さらに住みやすい街にするための方策を考えていく探究的な学習を通して、本校で育てようとする資質・能力の育成を図る。

多くの生徒にとっては、三原は幼い頃から慣れ親しんだ場所であり、三原がどのような所かは漠然と理解している。しかし、その内容は特産物や自然などの一般的な知識に留まり、表面的なものが多い。中学生になり、将来の自分を少しずつ現実的に捉え始めた今、三原についてじっくり考え、これから起こる様々な地域の課題を見つけ、三原に生きる1人として主体的に解決策を考える必要がある。

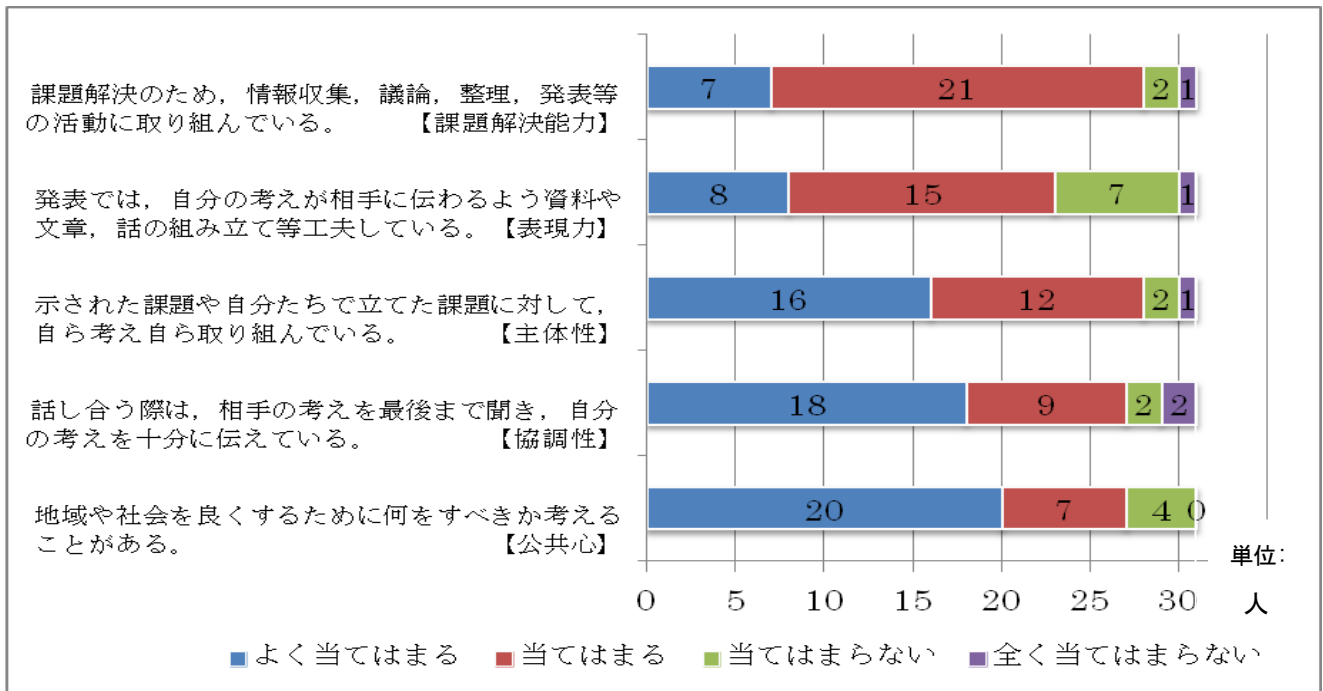
具体的に考えていくため、【商工業・娯楽・経済】【歴史・文化・伝統】【環境・防災】【交通・観光】【医療・福祉】【教育】の6つの分野に分け、生徒・身近な大人・三原の事業者・三原市役所など様々な角度から情報を集めながら、グループごとに整理・分析・まとめ・発表を繰り返し、解決したい課題は何か、それを解決するには誰のどのような努力が必要なのか、というねらいに迫っていく。

7月に豪雨災害に見舞われ、夏祭りなどの行事の延期・中止や、物流の停滞、断水など、多くの事業者が影響を受けた。防災のことも織り交ぜながら、自分が知らなかった三原や、三原に住む人たちの思い、三原を支える事業者の方々の願いなど、見えないものに対する新たな発見をしながら、ふるさとに誇りを持ち、自分たちが地域のために何ができるのかを考えさせ、来年度の職場体験学習に繋げたい。

(2) 生徒観(調査結果からみる課題)

本校で育成しようとする5つの資質・能力について、本学級で6月に実施したアンケートでは次のような結果であった。(回答人数 31人)

【宮浦中学校で育成したい資質・能力について】	よく 当てはまる	当て はまる	当て はまらない	全く当て はまらない
課題解決のため、情報収集、議論、整理、発表等の活動に取り組んでいる。 【課題解決能力】	7	21	2	1
発表では、自分の考えが相手に伝わるよう資料や文章、話の組み立て等工夫している。 【表現力】	8	15	7	1
示された課題や自分たちで立てた課題に対して、自ら考え自ら取り組んでいる。 【主体性】	16	12	2	1
話し合う際は、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを十分に伝えている。 【協調性】	18	9	2	2
地域や社会を良くするために何をすべきか考えることがある。 【公共心】	20	7	4	0



この結果から、どの項目においても肯定的評価は高いが、【課題解決能力】【表現力】においては、「よく当てはまる」と回答した人数が顕著に少ないことがわかった。

【課題解決能力】に関しては、課題設定の仕方や課題解決のために必要な知識や、その知識を活用して技能を高める機会が不十分であると考えられる。様々な角度から情報を集め、絡み合う様々な事実に気付かせながら、その中でできる解決策を考え、思考を深めさせたい。

【表現力】に関しては、日常的に様々な授業の中で意見交流を行っているが、知り得た情報を織り交ぜながら自分の考えを再構築し、伝わりやすい工夫をして簡潔に述べるまでの一連の経験はそう多くない。

本学級の生徒は、比較的男女隔てなくコミュニケーションできる生徒が多い。一方、興味のないものには無気力な生徒や、自分の意見を持つのが難しい生徒、相手の話を最後まで聞く前に発言してしまう生徒もいる。丁寧な表現を使うことや、話を聴く姿勢など、コミュニケーションをする際に必要なことも意識させながら、異なる意見を受け入れ自分の考えを掘り下げていけるように学習を進める必要がある。

(3) 指導観（指導改善のポイント）

指導にあたっては、自分が知らない三原の知識を得るため、三原の良い点と改善すべき点について班で意見交流を行う。同様に、身近な大人からも情報収集し、大人の視点からも三原を知る。多くの異なる意見に触れられるよう、いずれもKJ法で行う。集めた情報は班で分類したり、分類ごとに名前をつけたり、比較・整理・発表を繰り返しながら、班で協働して、与えられた課題に取り組んでいく。

三原に関する知識が増えたところで、個人の関心に基づき先述した6つの分野にグループを分け、その後の活動がより主体的に焦点化して行われるようにする。

次の段階では、グループで三原の事業所に出向き、事業者の視点から三原を考えるためのインタビュー活動を行う。質問内容は事前に各グループで話し合いにより考えさせる。仕事に対する思いや、これから生じてくる各事業所の課題など、将来の自分たちの生き方につながるような質問にさせる。また、7月の西日本豪雨災害で、各企業がどのような影響を受けたかを全ての企業の質問に入れ、防災に対する視点からも三原を考えさせたい。

その後、解決したい課題を設定させる。考える材料として、三原市や他市町の統計を使い、ベン図などを用いて三原と比較させたい。また、事業所へのインタビューで知った働く人の願いやその分野の課題、三原市民として以前KJ法で出した三原の良さや課題も参考にし、人が集まる街づくりの方策や、三原がより元気に、より安心して住める街になるための方策を、くま手チャートを用いて迫っていく。

他教科との連携では、国語の授業でウェビングを使って情報を整理することやお礼状の書き方について学ぶ。また、社会科や数学科の知識を活用して、グラフを通して三原市の人口の変遷や今後の予想を立てさせながら、家族を持つ20年後頃や、退職する50年後頃の三原を具体的にイメージさせる。

多くの意見に触れさせ、想像力を働かせながら、グループでの協働学習を通して5つの資質・能力を育てたい。

6分野に関わり、今回インタビュー体験にご協力いただいた三原市内の事業所（敬称略 順不同）

【商工業・娯楽・経済】豊栄堂運動具店 イマムラ スズキアリーナ フレスタ セブンイレブン ウォンツ

【歴史・文化・伝統】三原市教育委員会文化課

【環境・防災】三原市消防署

【交通・観光】宮浦交番 三原警察署交通課 三原市観光協会 JR 三原駅

【医療・福祉】三原市医師会病院 グループホーム宮浦 あすなる苑

【教育】三原市立西小学校 三原市立南小学校 県立広島大学三原キャンパス

（４）本単元において育成しようとする資質・能力

本校で育成しようとする資質・能力は以下の5点である。本単元においては5つの資質・能力をすべて育成する。評価方法・評価規準については「5 単元の目標と評価規準」に記載する。

【知識及び技能】○知識 ○技能
【思考力，判断力，表現力等】①課題解決能力 ②表現力
【学びに向かう力，人間性等】③主体性 ④協調性 ⑤公共心

5 単元の目標と評価規準

単元の目標

- ① 宮浦や三原市の現状を知り、課題の解決のために様々な情報を収集し、その解決策を相手や意図、目的に応じて表現することができる能力を養う。
- ② 自らの生き方について見直し、自分や自分の住んでいる宮浦と三原市の将来のために様々なことに進んで実践できる態度を育てる。
- ③ 自分とは異なる意見や他者の考えを受け入れ、学校内外の人とコミュニケーションをとりながら、協働して課題を解決する態度を育てる。

【知識及び技能】	○知識 ○技能	○宮浦や三原の現状を把握し、三原が抱える課題の解決のために様々な努力をしていることに気付いている。 ○課題の解決に向けて、様々な情報を収集し、複雑な問題状況における事実や関係を把握し、事象を比較する、分類する、関連付ける等考えるための技法を身に付けている。
【思考力、判断力、表現力等】	①課題解決能力 ②表現力	○知識や情報を活用することを通して、その課題の解決方法を見出すことができる。 ○様々な方法で収集した情報を、言葉や図、表などを用いて、相手にわかりやすく伝えることができる。
【学びに向かう力、人間性等】	③主体性 ④協調性 ⑤公共心	○課題に対して、自分の考えを持ち、意欲的に取り組もうとしている。 ○自らの考えをわかりやすく他者に伝えたり、他者の意見を謙虚に受け止め、協力して目標を達成しようとしている。 ○地域の課題を考え解決しようとしている。

6 指導と評価の計画

全50時間

次	学習内容（時数）	育成したい 資質・能力	評価規準 (評価方法)
1 市民の視点から三原を知り、情報を共有しよう	情報の収集 ・今までの自分の体験から三原の良さや課題を交流する。(2) ・友達や家族、地域の人から情報を収集し、様々な意見から三原を知る。(3)	③主体性 ○知識	・三原について自分が思っていること積極的に伝えようとしている。(行動観察) ・様々な意見を聞き、三原の現状を把握している。(ワークシート)
	整理・分析 ・集めた情報を班ごとに模造紙に整理する。(3)	○技能 ④協調性	・収集した情報を、分類したり関連付けたりしながら、整理している。(模造紙) ・班で意見を出し合いながら、情報を整理しようとしている。(行動観察・模造紙)
	まとめ・創造・表現 ・模造紙を元に地域の良さと課題を原稿にまとめ、班で練習・発表を行う。(3)	②表現力 ④協調性	・話し方を工夫し、聞き手にわかりやすく伝えることができる。(発表) ・班で協働し、練習を通してよりよい発表をしようとしている。(行動観察)

	<p>課題の設定, 実行, 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の汚れている場所を予想する。(4) ふれあい奉仕活動を通して, 地域の良さや課題を交流しながら清掃活動を行う。(4) ふれあい奉仕活動の振り返りを行う。(2) 	<p>③主体性</p> <p>④協調性</p> <p>⑤公共心</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地域で清掃が必要な場所について自分の経験をもとに考えようとしている。(生徒観察) 友だちや地域の方とコミュニケーションをとりながら地域の美化活動に取り組もうとしている。(行動観察) 地域の一員として, きれいな町づくりのために自分たちにできることを考え, 来年の奉仕活動につなげようとしている。(ワークシート)
2 事業者の視点から三原を知り, 情報を共有しよう	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでに学習した三原の良い所や課題を元に, 事業所への質問内容を考える。(2) 当日の分担や行き方を決める。(2) 	<p>①課題解決能力</p> <p>④協調性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の視点から, 三原の良さや課題を引き出せるような質問を考えることができる。(ワークシート) 協働して準備・練習を行い, よりよくインタビュー活動しようとしている。(行動観察)
	<p>情報の収集</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の事業所にインタビューを行い, 事業者の願いや各分野の課題を知る。(3) 	<p>④協調性</p> <p>○知識</p>	<ul style="list-style-type: none"> 適切なコミュニケーションをとりながら, 自分の役割を果たそうとしている。(行動観察) 事業者の立場からの三原の良さや課題を知っている。(ワークシート)
	<p>整理・分析・まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューで聞き取った内容を整理し, 模造紙にまとめる。(4) まとめた内容を交流する。(1) 	<p>②表現力</p> <p>④協調性</p> <p>○知識・技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 聞き取った内容をわかりやすく伝えることができる。(模造紙) 聞き取ったメモを持ち寄り, 分担を決めて模造紙にまとようとしている。(生徒観察) 他分野の情報を知り, 自分の分野との関連や相違点について気付いている。(ワークシート)
3 三原の課題を設定し, 解決策を考えよう	<p>課題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な統計を比較し, 各分野における将来の三原の姿を予想したり, 他市町の取り組みを知る。(1) 各分野での課題を挙げ, 他分野の課題と交流する。(2) 	<p>○知識</p> <p>③主体性</p> <p>○技能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を通して, 20年後, 50年後の三原を予想している。(ワークシート) これまでに得た情報を基に, くま手チャートを使って三原の課題を挙げようとしている。(ワークシート) 他分野と連携して解決策を考えられるものがないかを探る。(ワークシート)

	<p>課題解決</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題を解決するための手立てを考える。(1)【本時】 ・新たに出てきた問題の解決策を探る。(4) 	<p>①課題解決能力</p> <p>①課題解決能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・誰のどのような協力があれば解決に近づくのか等、設定した課題の解決に必要な具体を考えることができる。(ワークシート) ・調べ学習や、身近な大人への質問を通して、より現実的な解決策を見出すことができる。(ワークシート・行動観察)
より良い解決策を探ろう	<p>情報の収集, 整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストティーチャー(行政)の話を通して、三原の現状について知り、自分たちが考えた解決策が可能か探る。(2) ・聴き取ったことを整理し、解決策を練る。(1) 	<p>○知識</p> <p>①課題解決能力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報をメモしながら、行政の立場から見た三原の良さや課題を知ることができる。(ワークシート) ・ゲストティーチャーや企業からの聞き取りをもとに、その解決策について総合的に再考し、より良い解決策を見出すことができる。(ワークシート)
5	<p>まとめ・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最終的な解決策をまとめる。(2) ・総合の時間で考えたこと・学んだことを、地域に還元する。(2) 	<p>②表現力</p> <p>⑤公共心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んだことを基に、実現できそうな改善策を提案することができる。(レポート) ・文化祭での発表や、行政への提案等、より多くの人に知ってもらおう方策を考え、実行しようとしている。(行動観察)
学んだことを地域に返そう	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を振り返り、三原の良さと課題、自分たちにできることがないかを整理する。(2) 	<p>⑤公共心</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自己と三原の関わりを考え、地域の未来のために自分に何ができるかを考えようとしている。(評価シート)

7 本時の展開

(1) 本時の目標

課題を解決するための手立てを考えられる。

(2) 観点別評価規準

- ◎ 三原の課題を解決するためには、誰の(どの分野の)どのような協力が必要か予想し、課題解決に必要な具体を考えることができる。(ワークシート)

評価方法：ワークシート、共有用シート

(3) 準備物

黒板またはホワイトボード、個人用ワークシート、共有用シート、掲示物、磁石、ペン

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項 (■) (努力を要する生徒への指導の手立て◆)	○育成しようとする資質・能力 (評価方法)
	○ 本時の目標を確認する。		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【本時の目標】 課題を解決するための手立てを考えよう。 </div>		
導入	○ 手立ての考え方を確認する。 ・教育の分野を基に、思考の仕方を説明する。	■○○だから解決できない、ではなく、「誰のどのような協力があれば解決に近づくのか」を考えさせる。 ◆例を掲示する。	
展開	○ 自分たちが挙げた課題を解決する際に生じる問題を予想し、必要な手立てを考える。 個人思考	◆机間支援しながら、思考の手助けを行う。	①課題解決能力 三原の課題を解決するためには、誰のどのような協力が必要か予想し、課題解決に必要な具体を考えることができる。 (ワークシート)
	○ 個人思考した内容を、グループで共有する。 集団思考	■グループ内で全員が意見を言えるように予め順番を決めておく。 ■相手の意見に対して、反応をしながら聴かせるようにする。	
	○ 共有用シートに記入する。 前時までの学習内容を踏まえ、市民や事業者のどのような願いや思いを受けて設定した課題なのか等を含め、グループで出た意見を書きこませる。	■グループの意見を融合させたり精選したりしながら、提示するための意見を絞らせる。 ■三原市民としての自分たちの思いがより強く反映されているものを選ばせる。	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【主体的に学んでいる姿】 ・グループで意見を交流し、異なる意見を尊重しながら、互いの意見を取り入れ、具体的に考えている姿。 </div>		
	○ 共有用シートを全体に提示する。 ○ 解決するために連携できそうな分野に気付かせる。	■ 1つの問題を解決するためには様々な分野が絡んでいることに気付かせる。	
まとめ	○ 振り返りをする。	■ 自分の分野と連携できる分野や、解決のために調べる必要があること等を記入する。	

